

平成 30 年度 新人技術研修

平成 30 年 4 月 24 日 (火)
和歌山県看護研修センター

身につけよう！正しい知識と使える看護技術



委員長・教育委員
＜朝の挨拶＞

＜経鼻的胃管栄養法・吸引＞



スタンダードプリコーション
&
説明 承諾 協力



参加者からの
アドバイスも

< 静脈注射・静脈留置針挿入 >



手袋装着
前後の手指衛生も完璧



NS 「アルコール綿はかぶれませんか？」
 患者役 「アレルギーなんです。」
 NS 「分かりました。対処します。」



分かりやすい丁寧な説明
 必要物品の準備と後の適切な処理も！



全員が真剣そのもの
患者様のプライバシー確保もOK



教育委員長
＜総評＞

43名の新人看護職の参加がありました。

教育委員の指導のもと、

- 1 ブース：経鼻的胃管栄養法・吸引（口腔・鼻腔）
- 2 ブース：静脈注射・静脈留置針挿入
- 3 ブース：膀胱留置カテーテル

の演習を 6 グループに分かれて行いました。

「失敗したけど、経験できて良かった。」「針が上手く捨てられない、もう一回やってみよう。」それぞれの受講者が積極的に演習を行い、手技の手順や疑似患者様への説明や声掛け、留置針や吸引チューブの挿入角度など担当者と対話しながら、一生懸命実施していました。

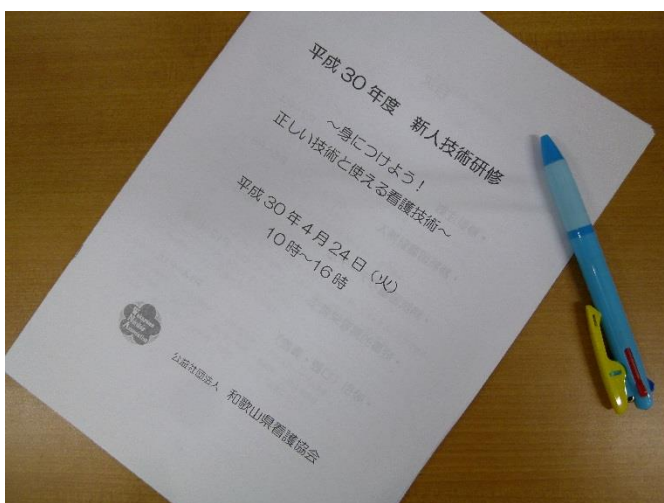
参加者の一部は友達に会えてうれしいと笑顔でしたが、午前中、初めて会う人と一緒のチームで緊張感もあり固い感じがしました。午後からは、疑似患者様への声掛けもスムーズになり笑顔も増えていました。

逆に、教育委員は、参加者のパワーに押され午後 3 時頃には疲れが顔に出て・・・



本当にお疲れ様でした。

受講者からは、「目的が達成できた」「今後に活用できる」などのアンケート結果が得られ、有意義な研修となったようです。

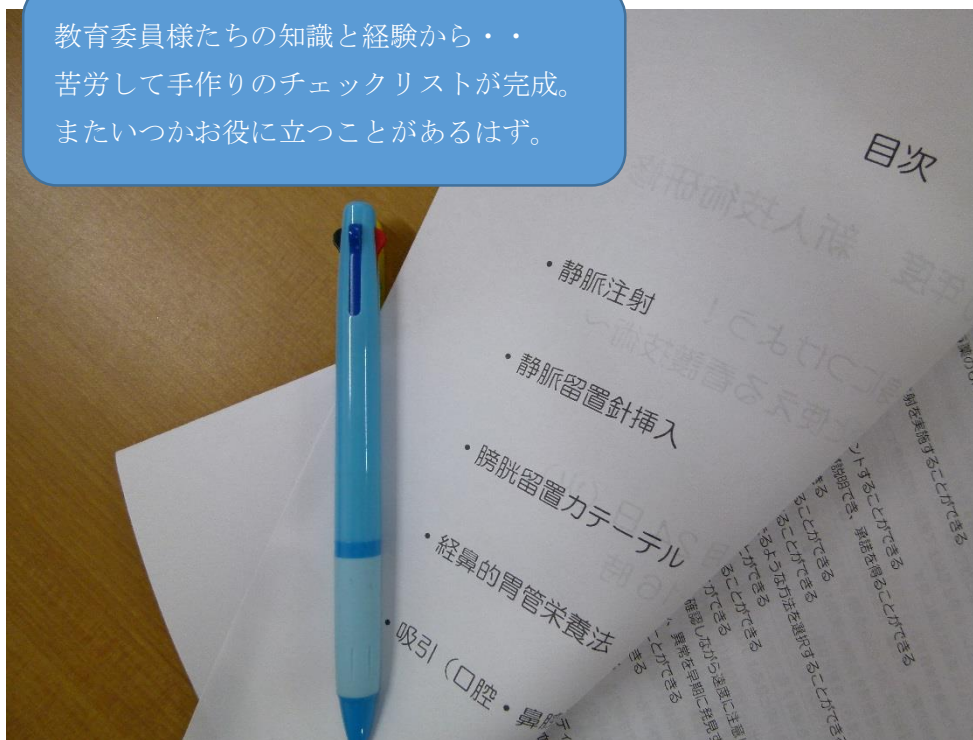


それから

交通渋滞に巻き込まれた参加者も時間内には到着。遅刻・早退なし。

食事後会場にゴミひとつなく、まるで 4 月 22 日仙台で行われた羽生選手凱旋パレード後の NEWS に取り上げられたマナーの良さに匹敵するのではと感動しました。

教育委員様たちの知識と経験から・・・
苦勞して手作りのチェックリストが完成。
またいつかお役に立つことがあるはず。



お疲れ様でした。またのご参加をお待ちしております。
皆様の今後のご活躍期待しています。